

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社湯山製作所 豊中新工場	階数	地上6F
建設地	大阪府豊中市名神ロー丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,900 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2018年5月2日
敷地面積	7,405 m ²	作成者	蔵原
建築面積	4,702 m ²	確認日	2018年5月2日
延床面積	20,313 m ²	確認者	吉永



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 さらなる発展のため、追求力・創造力の上昇、ブランド発信による社会的評価の獲得を実現する。 設計においては、視覚的・空間的に場をつなぎ、人の繋がりをつくることで、社員間での情報交換の活性化や追求関係の形成、コラボレーションを誘発する。		その他 0
Q1 室内環境 事務室や応接室で執務するのに必要な音環境・温熱環境・光環境・空気環境を満足させる。室の主たる床仕上材にカーペット、天井に岩綿吸音板と2面に吸音材を使用することで、音環境に配慮している。	Q2 サービス性能 最上階は開放感ある5mの複層ガラス、連窓による間口の広い開口や各個室には大きな開口を確保し、ゆとりある豊かな居住性を実現している。将来対応を見越した予備スペースの確保など、建物の維持管理にも配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の、特に接道している箇所周辺に高木、低木、地被植物を計画することで、緑量を確保するとともに、緑豊かな景観の形成に配慮している。
LR1 エネルギー 外壁や屋根には断熱材を使用し、窓は複層ガラスとすることで、建物の熱負荷を低減させる。ガラスファサードに面した共用部は季節によって、窓を開放し、自然通風が得られるようにする。	LR2 資源・マテリアル コア廻りを除き将来の間仕切変更に対応できる内装計画としているため、再利用性の高い間仕切壁を採用している。間仕切り位置変更などの将来対応のため、可動式パーティションやOAフロアを使用し再利用性に配慮している。	LR3 敷地外環境 施設利用に際して、自動車の代わりに自転車やバイクを利用して問題ないよう、適切な量の駐輪場とバイク置場を計画している。また、敷地外に自動車を駐車することが無いよう、敷地内に適切な量の駐車を計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0045

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	株式会社湯山製作所 豊中新工場建設工事					
		建設地	大阪府豊中市名神口36番1、41番1					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.2	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								